愛知県警備業協会の
災害対応について

一般社団法人
愛知県警備業協会

もくじ

- 愛知県警備業協会とは
- 警備の仕事について
- 愛知県警備業協会における災害支援体制
- 愛知県警備業協会における災害支援組織
- 災害時の任務
- 災害支援における課題

一般社団法人
愛知県警備業協会

愛知県警備業協会とは

- 設立目的
  - 警備業務の実施の適正を確保し、警備業の健全な発展を図り、社会公共の安全に寄与する
- 事業内容
  - 業務の適正化に関する指導調査研究
  - 法令の規定に基づく研修等の委託事業
  - 警備業務に従事し、しようとする者に対する教育訓練及び研修
  - 地域防災計画等に基づく大規模災害発生時における協力支援活動
- 会員
  - 愛知県公安委員会から警備業認定を受けるか他県で警備業認定を受け愛知県内で営業しているもの

一般社団法人
愛知県警備業協会

警備の仕事のイメージ

抱かれるイメージ

一般社団法人
愛知県警備業協会

警備の仕事

警備業務　他人の需要に応じて行う次の各業務をいう。

第1号警備業務

- 対象となる施設、建物を警備する仕事
- オフィスビルや工場・学校・公共施設を出入りする人の管理、施錠（鍵を開けたり閉めたり）、巡回、受付、案内、防災センターでの監視や対応を行う仕事
- いろいろな施設にセキュリティシステムを設置し、そのセキュリティシステムからの異常信号を受けて緊急出動し対応する仕事

第2号警備業務

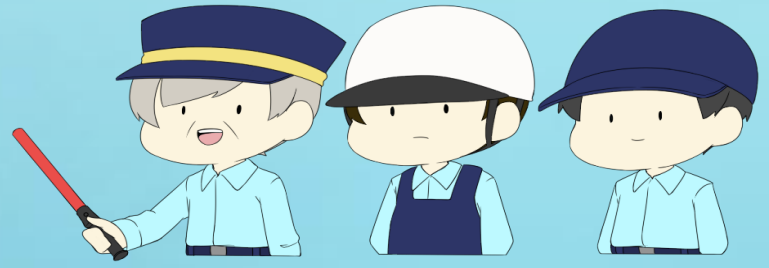
- マラソン大会の沿道、コンサートやスポーツのイベント会場、花火大会等の人が集まる場所で事故が起こらないようにする仕事
- 高速道路や一般道の工事現場での車両を誘導する仕事
- ショッピングモールやテーマパークの駐車場等で、自動車とその周辺の歩行者とが事故を起こさないように安全確保を行う仕事

一般社団法人
愛知県警備業協会

警備の仕事

第3号警備業務

- 現金、美術品、核燃料等運搬中の品物が盗難等の事故に遭わないように警戒する仕事



第4号警備業務

- ボディーガードと呼ばれている仕事

その他の形態

・プール監視
・万引きGメン

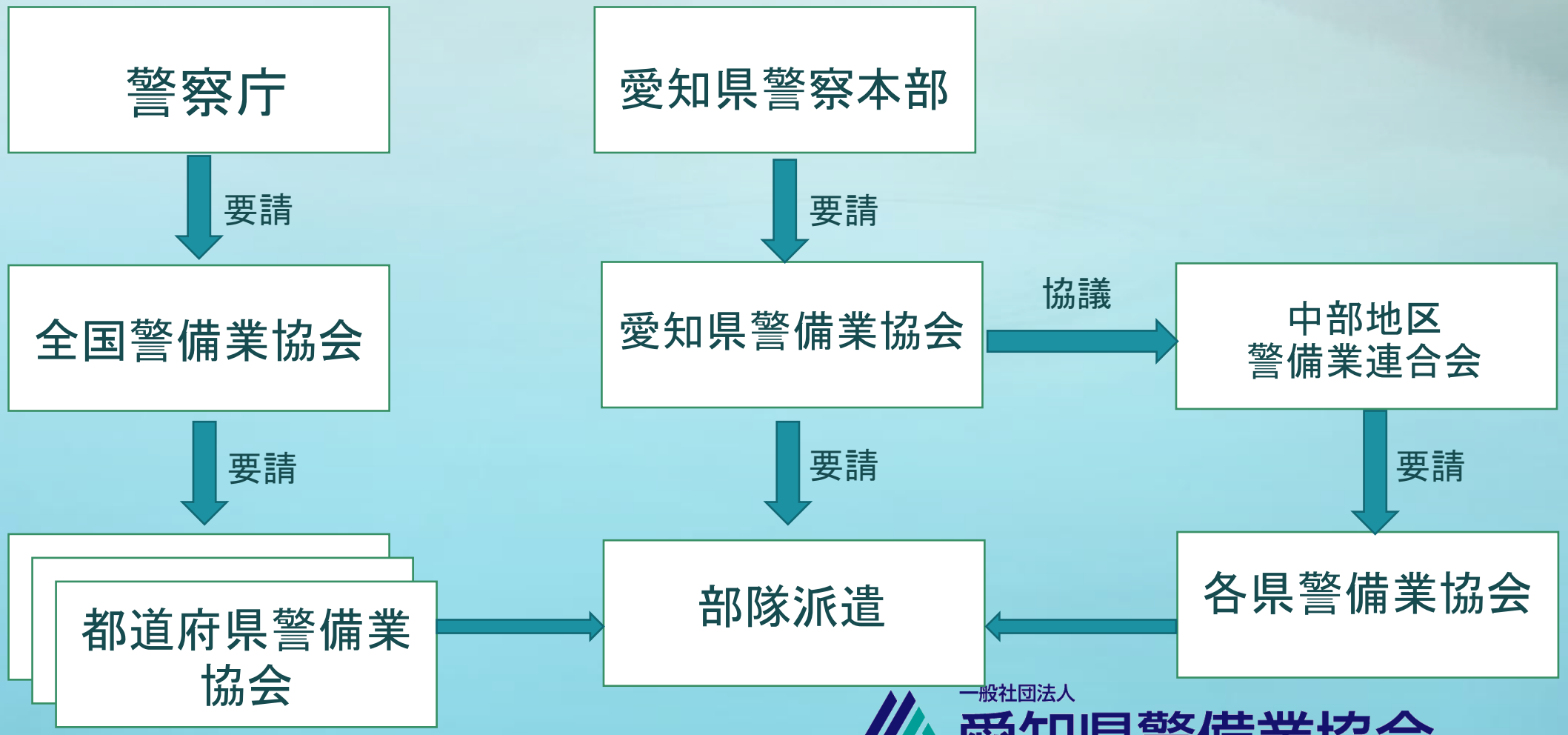
一般社団法人
愛知県警備業協会

災害支援体制の整備

- 平成9年5月16日
  - 愛知県警察本部と災害時における交通の確保等の業務に関する協定
  - 業務内容
    - 緊急交通路の確保に関する交通誘導
    - 被災地・避難場所における警戒警備
    - その他必要の認める警備業務
- 平成9年10月30日
  - 災害時における警備業協会間の広域支援に関する協定
    - 中部　富山、石川、福井、岐阜、愛知、三重
- 平成23年12月22日
  - 災害時における緊急支援活動に関する覚書
  - 警察庁・全国警備業協会
- 災害対策警備業務実施規定
  - 毎年4月出動予定警備員表を作成
  - 教育訓練
  - 災害対策本部の事務
  - 出動要請
  - 出動時の措置
  - 広域支援体制
- 出動部隊
  - 出動予定警備員によるもの
  - 愛知県警備業協会災害支援協力隊
- 活動内容
  - 防犯パトロール・避難施設等の警戒
  - 緊急交通路等の確保
  - その他必要と認める活動

一般社団法人
愛知県警備業協会

部隊派遣の流れ



一般社団法人
愛知県警備業協会

当協会の災害出動体制

種別	災害時の出動予定警備員	愛警協災害支援協力隊
根拠規定	災害対策警備業務実施規定	愛警協災害支援協力隊設置要綱
開始	平成9年７月	平成22年11月
形態	業としての出動	ボランティア
身分	各社の警備員	愛警協災害支援協力隊員
装備	各社	愛警協
出動期間	長期	短期
出動時期	発災後の契約による	発災後間もない時期
広域援助	必要に応じ法上の届出	特に規制はない
人員	213社　1389人	69社　298名（欠員11名）
出動単位	会社の単位	必要に応じて変更可
災害補償	各社・出動者	ボランティア保険

一般社団法人
愛知県警備業協会

装備品

保有リスト

協会名	愛知県警備業協会	協会	作成日 令和２年６月１日		災害支援協力隊個人装備
種別	№	品名	単位	数量	摘要
１．食料	1	缶パン	缶	1512	63箱（24缶入り）内各支部10箱
	2	ビスケット	袋	1512	63箱（２４袋入り）内各支部10箱
３．防災品他	2	マスク（50枚入り）	箱	12	
	3	三角巾	枚	150	
	4	軍手	双	20	
	6	紙コップ	個	150	
	9	乾電池（単一）	本	10	
	11	ガス式発動発電機	台	１台	プロパンガス
	14	簡易搬送用担架	台	６台	四つ折りタイプ
	15	寝袋	袋	35	協会5袋・各支部5袋
	20	ヘッドライト	個	５個	
	22	ラジオ	台	１台	
	23	毛布（非常用圧縮）	枚	８０枚	
	24	カセットコンロ（燃料用）	台	２台	
	26	リュックサック（隊員用）	個	２６個	ヘルメット収納付
	27	災害無線機（県下全域）	台	７台	MCA携帯型
	28	同上（約１Ｋｍ～５Ｋｍ）	台	７台	
	29	同上（約２００ｍ）	台	８台	特定小電力トランシーバー
	30	デジタルカメラ（防水型）	台	１台	
	31	救急箱（湿布、包帯等	箱	１箱	
	32	拡声器	個	10個	

品名
警備服上着
警備服ズボン
Tシャツ半袖
Tシャツ長袖
警備靴
帽子
ヘルメット
カバン
靴カバン
ベルト
警笛
白手
雨カッパ上着
雨カッパズボン

一般社団法人
愛知県警備業協会

愛知県警備業協会災害支援隊

一般社団法人
愛知県警備業協会

平成23年3月東日本大震災　自主防犯パトロール平成23年4月24日～5月2日

一般社団法人
愛知県警備業協会

被災地での活動など

被災地（岩手・宮城・福島）では
ATM盗56件　6億8400万円（前年0）
空き巣ねらい　1233件（前年比1.5倍）
性犯罪等が発生している

現地入りした部隊は、A9からP10まで巡回パトロールを実施、
空き巣、金属材料を狙う資材あらし、店舗の略奪防止など
遺失物の発見・引継ぎ
避難場所への立ち寄り
被災者への声掛け

一般社団法人
愛知県警備業協会

将来的な検討課題

- 警備業法による法規制の課題
  - 業務に対しての当該警備業者が契約、契約先に契約前後書面の交付
    - 契約条項が明記されていないため、会計処理が困難で、業としての災害対応はできない
  - 配置路線など、有資格者について考慮する必要
  - 他県への応援など、当該公安委員会以外の場所であると届出が必要
  - 各社の混成は無理
- 広域支援の課題
  - 協定対象の相違
    - 自治体　25道府県
    - 警察　　22都県
  - 広域支援協定
    - 締結　　関東、中部、近畿、中国、四国
    - 未締結　東北、九州
- 災対法上の指定地方公共機関
  - 指定道県　北海道、福島、静岡、岐阜、鳥取
  - ほとんどの都府県が指定されていない
- 災害/損害の負担
  - 現行協定では損害の負担は出動者、警備業者となっている
- 派遣場所での補給
- 中小事業者のBCP対応

一般社団法人
愛知県警備業協会